

3. 介護保険事業分析ソフトについて

3. 介護保険事業分析ソフトについて

制度改正対応版『介護保険給付分析ソフト 2006』の概要

平成18年度厚生労働科学研究費補助金等による行政政策研究事業

1 『介護保険給付分析ソフト 2006』とは

介護保険給付分析ソフトは、保険者が自ら介護保険事業の実績を把握・分析することを支援する政策評価支援ソフトである。分析ソフトの機能は、各都道府県の国民健康保険団体連合会提供の「保険者向け給付実績情報(11100000.CSV)」を用いて、介護サービスの利用状況やケアプランを把握・分析するための①介護保険事業実績分析報告書、②月別集計ファイル、③個人シート原票の3つのデータを提供するものである。この分析ソフトは、日本福祉大学福祉政策評価センター(開発責任者 平野隆之)により開発され、当センターのホームページを通じて、保険者に限り配信されているものである。なお、2001年度以降多くの保険者により活用されている。

『介護保険給付分析ソフト 2006』では、2005年度の『介護保険給付分析ソフト 10月版』を大幅に改訂し、制度改正による新サービス体系への対応を図り、新たな分析視点を導入している。

2 介護保険事業実績分析報告書

介護保険事業実績分析報告書は、多様な分析視点から実績データを分析し、分かりやすく図表で表現した24ページの月報である。介護保険担当職員が自ら介護保険事業実績の把握や分析に活用したり、介護保険運営協議会や介護保険事業計画策定委員会等への報告書として利用できる。なお、報告書の内容については、以下の変更を行っている。

1) 新サービス体系への対応

① (新) 予防給付の利用状況

予防・介護給付の区分により、予防給付対象者のサービス種類別利用状況が把握できる。しかし、介護保険データの制約により、地域支援事業については含まれていない。

② 地域密着型サービスの普及状況

地域密着型サービスの種類別利用人数や費用額等の利用状況が把握できる。また、在宅系の地域密着型サービスの利用率により、サービスの普及状況を確認できる。

2) 新たな3つの区分変更

① 在宅サービスの機能6区分

在宅サービスの組み合わせの把握を容易にするために、在宅サービスの機能により6区分(訪問型、通所型、短期滞在型、小規模多機能、居住、その他)し、サービス利用状況と費用総額の割合が把握できる。

② 在宅・居住・施設3区分

在宅・施設の2区分から、居住サービス区分を重視し、在宅・居住・施設3区分による利用人数と費用総額の割合が把握できる。この3区分を用いる場合は、在宅に居住が含まれていない。

③ 対支給限度額比率4区分

対支給限度額比率区分(3割、6割、9割)から、利用水準の格差を把握できるよう対支給限度額比率区分を、2割未満、2~4割未満、4~8割未満、8割以上の4区分とした。

3) 新たな3つの分析視点

① 要介護度3区分によるサービス利用分析

軽度・重度（2区分）から、重点施策である介護予防、認知症ケアの重視、施設の重度割合の進捗状況を把握するために、新たな3区分（軽度・中度・重度）を用いた。ただし、中度は認知症高齢者を完全に捉えられていない。

重点施策	要介護度（要介護度3区分）
介護予防	要支援1・2（軽度）
認知症ケアの重視	要介護1～3（中度）
施設の重度割合	要介護4・5（重度）

② サービスパッケージによる利用・費用構造の分析

在宅・居宅・施設サービスにわたる全ての介護サービスを一体的に捉えるために、在宅サービス6区分の組み合わせと施設を合わせて9つのサービスパッケージを作成している。

サービスパッケージ別費用割合

サービス パッケージ (全体)	費用割合 (対総額)	Hのみ	9.1%
		Dのみ	13.4%
		H+D	12.5%
		D+S	5.5%
		H+D+S	5.1%
		小規模多機能	0.0%
		居住	9.9%
		施設	39.7%
		その他	4.8%

サービスパッケージごとに、費用総額とその構成要素である利用人数、1人当たりの費用額を把握すると、利用状況や費用割合を確認することができる。

左表は、介護保険事業実績分析報告書最終ページの比較指標一覧からの抜粋である。

※H：訪問型、D：通所型、S：短期滞在型

③ 施設・居住サービスの参酌標準の達成度

平成26年度に向けた参酌標準のうち、要介護認定者数（要介護2～5）に対する施設・居住系サービス利用者の割合と、介護保険3施設利用者に占める重度者の割合の状況について達成度が把握できる。

3 月別集計ファイル

月別集計ファイルは、月単位の1行データであり、年間の介護保険事業統計の作成を容易にする。なお、当センターにおいて、既に試験的にダウンロードを可能としている本分析ソフトは、月別集計ファイル作成機能を有していないため、再度セットアップが必要である。

4 個人シート原票

個人シート原票は、利用実績のあった要介護認定者の要介護度、性別等のフェースシートと新たなサービス体系を反映した利用介護サービスの種類、頻度、金額に関する113項目にわたるデータを一覧表にしたものである。

この一覧表は、介護サービス利用台帳として活用可能であり、データベースとして詳細な追加分析ができる。

介護保険事業実績

[サービス利用・ケアプラン]

分析報告書

目次

1 認定・受給の状況	・・・ 1
2 在宅・施設の利用状況(基本指標)	・・・ 1
3 施設入所者の利用状況	・・・ 5
4 在宅サービスの利用状況	・・・ 7
5 対支給限度額比率(在宅)	・・・ 12
6 在宅サービス別の利用率と利用水準	・・・ 14
7 在宅サービス類型別の利用状況	・・・ 16
8 在宅・居住・施設区分と地域密着型サービスの利用状況	・・・ 18
9 サービスパッケージの費用構造	・・・ 20
10 施設・居住サービスの利用者と要介護度の状況	・・・ 22
11 特定入所(居)者介護サービス費の状況	・・・ 23
12 比較指標一覧	・・・ 24

保険者番号 999999
利用実績年月 2006年4月
取込審査月 2006年5月～2006年5月

「介護保険事業実績分析報告書」は、国保連合会から配信される「保険者向け給付実績情報(11100000.GSV)」データに基づき作成しています。

サービス利用とケアプランの分析を目的としたため、費用額の算出にあたっては、報酬算定にかかわる「地域区分」を考慮していません（一律に1単位=基本10円を採用）。

1 認定・受給の状況

高齢者数	認定者数	認定率(%)	受給(利用)実人数	受給率(%)
17,000人	2,698人	15.9	2,464人	91.3

2 在宅・施設の利用状況(基本指標)

2-1 2006年4月期 介護保険事業の利用人数・費用額

	在宅		施設	合計
		居住		
利用人数(人)	1,955	144	543	2,498
構成比	78.3%	5.8%	21.7%	100.0%
費用総額(千円)	226,384	33,864	137,032	363,416
費用割合	62.3%	9.3%	37.7%	100.0%
1人あたり 費用額(円)	115,797	235,169	252,362	145,483

※在宅の費用総額には居宅サービス計画費を含む
 ※各費用総額に特定入所(居)者介護サービス費は含まない

利用人数	在宅 78.3%	施設 21.7%
------	-------------	-------------

費用総額	在宅 62.3%	施設 37.7%
------	-------------	-------------

2-2 予防・介護給付別の利用人数・費用額

	在宅(予防)	在宅(介護)	施設	合計
利用人数(人)	46	1,909	543	2,498
構成比	1.8%	76.4%	21.7%	100.0%
費用総額(千円)	1,968	224,415	137,032	363,416
費用割合	0.5%	61.8%	37.7%	100.0%
1人あたり 費用額(円)	42,792	117,556	252,362	145,483

※在宅の費用総額には居宅サービス計画費を含む

※各費用総額に特定入所(居)者介護サービス費は含まない

※経過的要介護は、在宅(介護)に含む

<利用人数>

在宅 78.3%	施設 21.7%
-------------	-------------

在宅(予防) 1.8%	在宅(介護) 76.4%	施設 21.7%
----------------	-----------------	-------------

<費用総額>

在宅 62.3%	施設 37.7%
-------------	-------------

在宅(予防) 0.5%	在宅(介護) 61.8%	施設 37.7%
----------------	-----------------	-------------

2-3 年齢区分と在宅利用者・施設入所者の状況
 <在宅利用者(予防・給付)、施設入所者別年齢区分割合>

在宅(予防)	65-74歳 12人 26.1%	75-84歳 17人 37.0%	85-94歳 16人 34.8%
	-64歳 1人 2.2%		
在宅(介護)	65-74歳 326人 17.1%	75-84歳 769人 40.3%	85-94歳 664人 34.8%
	-64歳 63人 3.3%		95歳- 87人 4.6%
施設	65-74歳 47人 8.7%	75-84歳 213人 39.2%	85-94歳 225人 41.4%
	-64歳 16人 2.9%		

<年齢区分別在宅利用者(予防・介護)、施設入所者割合>

-64歳	在宅(予防) 1.3%	在宅(介護) 78.8%	施設 20.0%
65-74歳	在宅(予防) 3.1%	在宅(介護) 84.7%	施設 12.2%
75-84歳	在宅(予防) 1.7%	在宅(介護) 77.0%	施設 21.3%
85-94歳	在宅(予防) 1.8%	在宅(介護) 73.4%	施設 24.9%
95歳-		在宅(介護) 67.4%	施設 32.6%

2-4 在宅利用者・施設入所者の要介護度割合

<要介護度割合>

在宅	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	242人 12%	654人 33.5%	360人 18.4%	238人 12.2%	200人 10.2%	108人 5.5%
経過的 349人 17.9%						
施設	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
	63人 11.6%	90人 16.6%	111人 20.4%	171人 33.5%	108人 19.9%	
合計	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	242人 10.9%	717人 28.7%	450人 18.0%	349人 14.0%	371人 14.9%	216人 8.6%
経過的 349人 14.0%						

<要介護度3区分割合>

在宅	軽度	中度	重度
	20.2%	64.0%	15.8%
施設	中度	重度	
	48.6%	51.4%	
合計	軽度	中度	重度
	15.8%	60.7%	23.5%

※経過的要介護、要支援1・2を軽度 要介護1・2・3を中度 要介護4・5を重度と記す
 ※経過的要介護は「経過的」と記す

2-5 要介護度3区分別の在宅・施設割合

軽度	395人 100.0%	
中度	1,252人 82.6%	264人 17.4%
	308人 52.5%	279人 47.5%
合計	1,955人 78.3%	543人 21.7%

在宅 施設

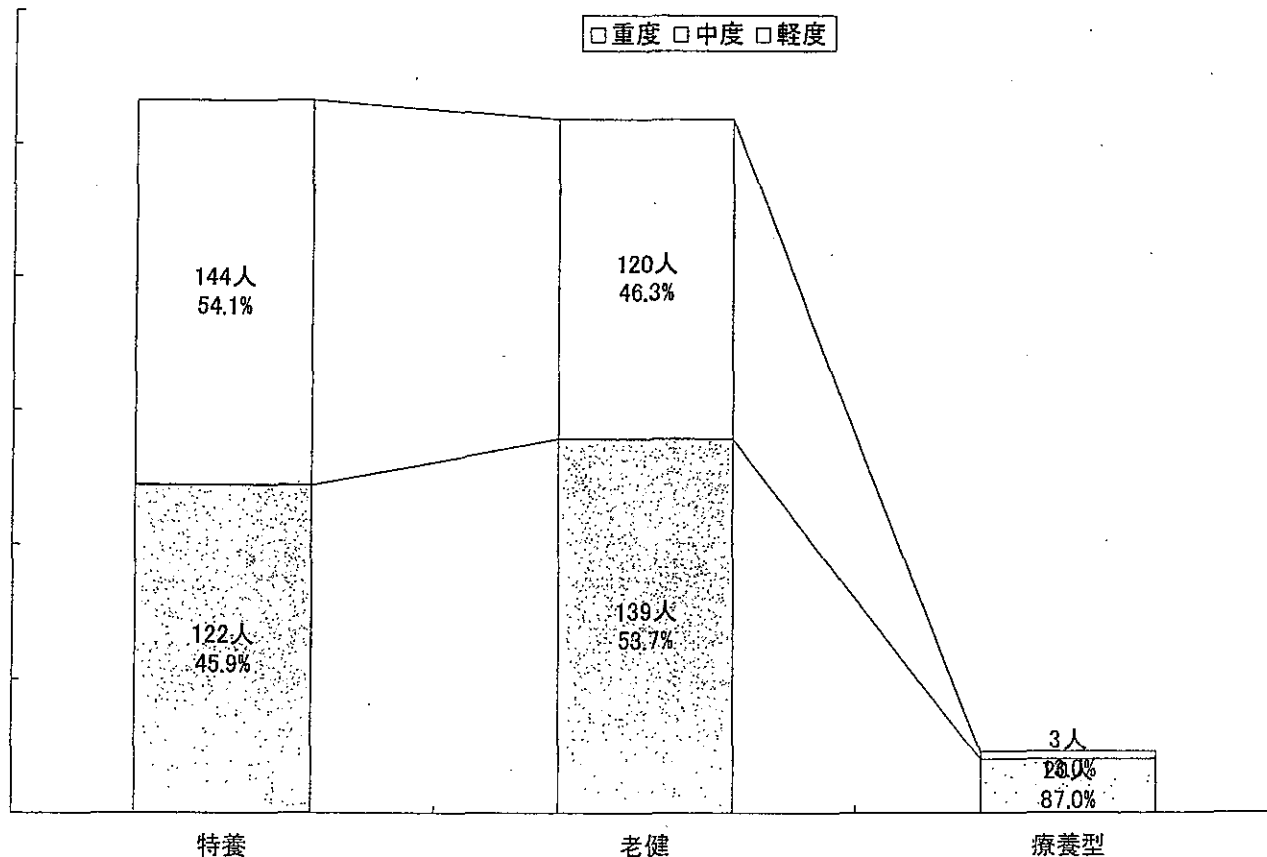
3 施設入所者の利用状況

3-1 施設別入所者の要介護度の状況

	軽度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	施設別 利用割合
介護老人福祉施設(特養)	0人	34人	54人	56人	80人	42人	266人	48.5%
	0.0%	12.8%	20.3%	21.1%	30.1%	15.8%	100.0%	
再掲 地域密着型介護老人福祉施設 (小規模特養)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0.0%
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
介護老人保健施設(老健)	0人	30人	35人	55人	91人	48人	259人	47.3%
	0.0%	11.6%	13.5%	21.2%	35.1%	18.5%	100.0%	
介護療養型医療施設(療養型)	0人	0人	1人	2人	1人	19人	23人	4.2%
	0.0%	0.0%	4.3%	8.7%	4.3%	82.6%	100.0%	
合計	0人	64人	90人	113人	172人	109人	548人	100.0%
	0.0%	11.7%	16.4%	20.6%	31.4%	19.9%	100.0%	

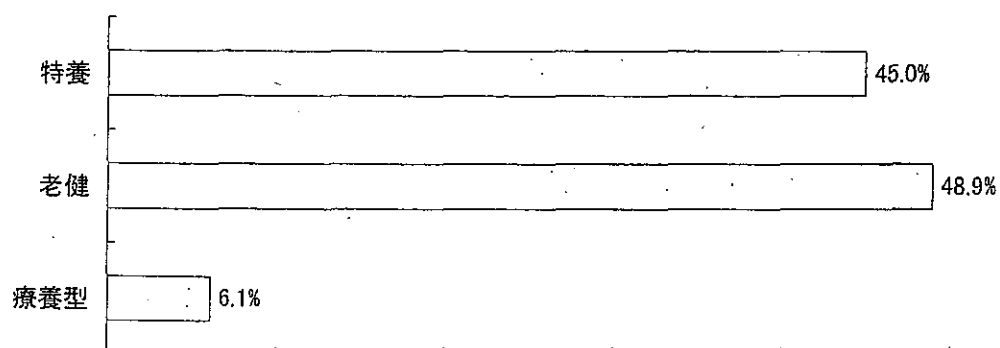
※「経過的」は軽度に含む

<要介護度3区分割合>



3-2 施設サービス種類別の費用額

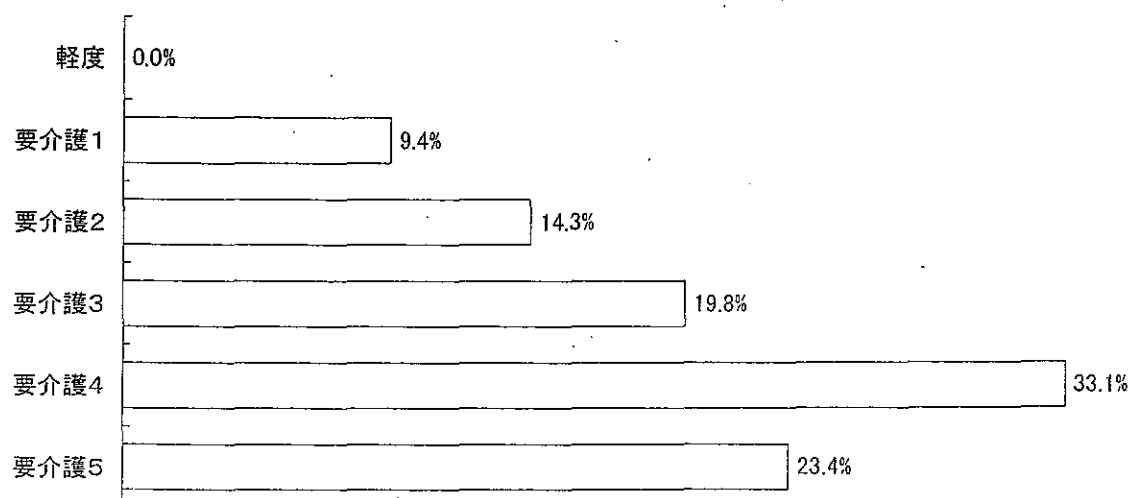
施設	費用総額(千円)	費用割合
介護老人福祉施設(特養)	61,669	45.0%
再掲 地域密着型介護老人福祉施設(小規模特養)	0	0.0%
介護老人保健施設(老健)	67,058	48.9%
介護療養型医療施設(療養型)	8,305	6.1%
合計	137,032	100.0%



3-3 要介護度別施設サービスの人数・費用構成

要介護度	人数	構成比	1人あたり費用額(円)	費用総額(千円)	費用割合
軽度	0人	0.0%	0	0	0.0%
要介護1	63人	11.6%	205,506	12,947	9.4%
要介護2	90人	16.6%	218,319	19,649	14.3%
要介護3	111人	20.4%	243,851	27,067	19.8%
要介護4	171人	31.5%	264,950	45,306	33.1%
要介護5	108人	19.9%	296,879	32,063	23.4%
合計	543人	100.0%	252,362	137,032	100.0%

<費用割合>

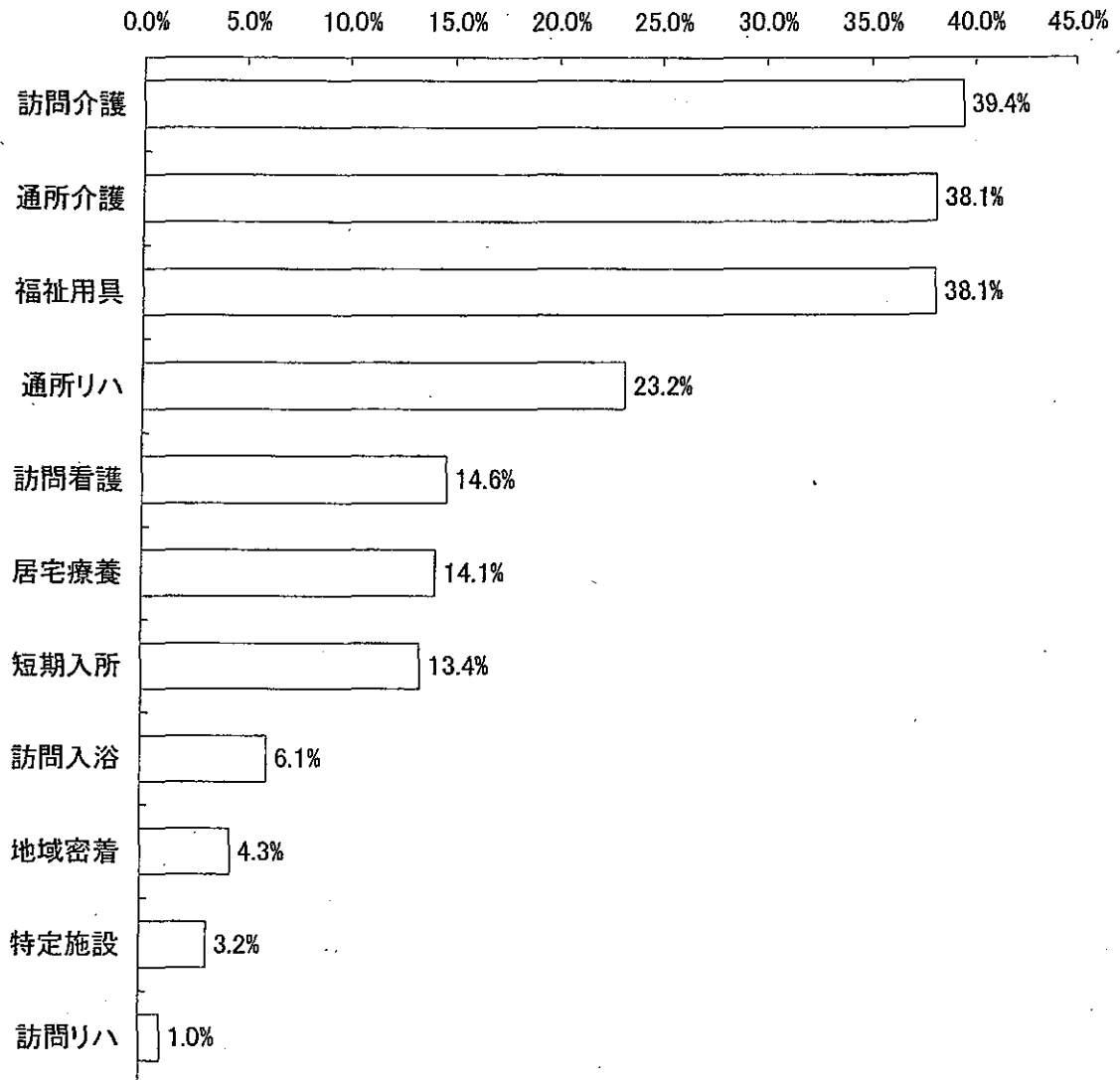


4 在宅サービスの利用状況

4-1 在宅サービス種類別の利用人数

サービス名		予防給付	利用率	介護給付	利用率	合計	利用率
標準的在宅サービス	訪問介護	22人	47.8%	748人	39.2%	770人	39.4%
	訪問入浴	2人	4.3%	118人	6.2%	120人	6.1%
	訪問看護	2人	4.3%	284人	14.9%	286人	14.6%
	訪問リハ	0人	0.0%	20人	1.0%	20人	1.0%
	通所介護	18人	39.1%	727人	38.1%	745人	38.1%
	通所リハ	4人	8.7%	450人	23.6%	454人	23.2%
	福祉用具	2人	4.3%	742人	38.9%	744人	38.1%
	居宅療養	4人	8.7%	272人	14.2%	276人	14.1%
	短期入所	0人	0.0%	262人	13.7%	262人	13.4%
	特定施設	2人	4.3%	61人	3.2%	63人	3.2%
地域密着型サービス	夜間訪問	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
	認知症デイ	0人	0.0%	4人	0.2%	4人	0.2%
	小規模多機能	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
	GH短期	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
	グループホーム	0人	0.0%	81人	4.2%	81人	4.1%
	小規模特定施設	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
利用実人数	標準的在宅	46人	100.0%	1,879人	98.4%	1,925人	98.5%
	地域密着型	0人	0.0%	85人	4.5%	85人	4.3%
	合計	46人	100.0%	1,909人	100.0%	1,955人	100.0%
予防・介護給付割合			2.4%		97.6%		100.0%

<在宅サービス利用率（上位順）>



<地域密着型サービス利用率>

